



覚満淵通信

赤城山の自然保護

活動推進協議会

第 2 号

発行日 2012 年 6 月 29 日

【第3回ササ刈り報告】

梅雨になり、みなさまにおかれましてはいかがおすごでしょうか。ここ覚満淵でも緑が深さを増し、春から夏へと装いを変えようとしています。

5月20日(日)に行われました覚満淵のササ刈りにご参加くださいましたみなさま、誠にありがとうございました。90名という大勢の方のご協力を頂けましたことを、心から感謝いたします。



ニッコウキスゲの新葉

第3回覚満淵のササ刈り作戦の様子
2012年5月20日(日)



涼しい天気で一生涯懸命汗を流し
怪我もなく無事終了しました。



新たに損保ジャパン Save Japan
プロジェクトのご支援をいただき
ました。



“第4回覚満淵のササ刈り作戦” 11月4日(日)開催決定

覚満淵に再びたくさんのお花を咲かせるため、多くの方のご参加をお待ちしております。

お問合せは、郵便、Eメール、FAXのいずれかの方法でご連絡ください。

NPO法人赤城自然塾 〒371-0201 前橋市粕川町中之沢7番地 サンデンフォレスト内

FAX : 027 - 212 - 2611 Email : yoshi-koba4649@yahoo.co.jp

申込期限 : 10月下旬(詳細未定) 先着100名まで

【地元の方による食害防止ネットの巻き付け作業報告】

5月10日(木)には、大沼周囲の広葉樹のシカ食害防止ネットのまき付け作業を大洞地区の皆さん30人の協力により行われました。

この冬は厚生団地周辺での食害が多く発生しており、その地区を中心に作業を行いました。

約300枚の巻き付けを行うことができました。



【花畑復元に向けて】

2011年にササ刈り区で行った植生調査の結果では、2006年から試験的にササ刈り対策を行っている4ヶ所の柵の内・外を比較すると、植生に大きな変化がみられる事が判明しました。ササ刈りを行っている対策区ではニッコウキスゲが増加することは既に報告しましたが、逆にササ刈りをおこなっていなかった場所では、ササヤススキに日の光をさえぎられてしまい、ニッコウキスゲや他の植物が見られなくなることも判明しました。これらの調査結果からも、ササ刈りを継続することで、覚満淵の花畑の復元に大きな期待が持てます。しかし一方で、ワラビやススキの増加が見られました。これらも日の光をさえぎってしまうので、今後は除去対策が必要です。覚満淵の花畑復元のため、また後世に自然を残すために、今後も引き続き、みなさまのご協力をお願いいたします。



既に伸び始めたワラビ (H24.5.31)

【昨年の覚満淵の様子】



マツムシソウ
ニッコウキスゲ



ササを刈った場所に見られるようになったワラビ等



ヤマラッキョウ ワレモコウ

